

昔から作文は借文(しゃくぶん)であると言われてきた。Practice makes perfect.(習うより慣れる)ということわざもある。英作文の学習には、英文をたくさん読んでその中の良い英文をまねることが一番の方法であるが、諸君にはそれだけの時間的余裕はないだろう。そこで、当面の目的を達成するのに最も効率的な方法は何か、という問いに対する答えとして編んだのが本書である。

《本書の編集方針》

1. 家族, 健康・趣味, 情報・通信などのトピック(話題)別に, 17章, 255題収録した。
2. 章の初めに native speaker が書き下ろした〈model sentences〉を収めた。利用価値が高いので, ぜひ全部暗記してほしい。
3. 〈warm-up〉として適語選択問題を置き, 〈Exercises〉はすべて大学入試問題から精選し, レベルと長さによって A, B に分けた。
4. 〈notes〉は, まず見ないで書いてみるように後ろにまとめて付け, 語句・考え方・参考などは必要最小限におさえた。
5. 章の末尾に〈Say It in English〉を載せた。トピックに合った代表的な表現であるから, 〈model sentences〉とともに大いに活用していただきたい。

《本書の利用法》

1. 〈model sentences〉を暗唱して重要な構文・表現を自分のものにする。
2. 答えは授業の前に〈model sentences〉などを参考にして必ず自分で書き, 先生の模範解答と照合して自分で手を入れることが重要である。
3. 英文を書くときは, 自分がわかっている語句や表現で, やさしい文章を書くように心掛ける。
4. 決定した模範解答を使って, 「読み(音読)」「書き(作文)」が自由自在にできるようになるまで練習する。

以上のようなことを着実に実行すれば, 英作文の実力が間違いなく身に付くはずである。ご健闘を祈る。

編 者

1. Family 〈家族〉	4
2. Entertainment and Hobbies 〈娯楽・趣味〉	8
3. Travel 〈旅行〉	12
4. Reading 〈読書〉	16
5. Friendship 〈交友〉	20
6. Health 〈健康〉	24
7. Traffic and Transportation 〈交通・輸送〉	28
8. Information and Communication 〈情報・通信〉	32
9. Education 〈教育〉	36
10. Language 〈言語〉	40
11. Life and Ethics 〈人生・道徳〉	44
12. Japanese Culture 〈日本文化〉	48
13. Geography and History 〈地理・歴史〉	52
14. International Understanding 〈国際理解〉	56
15. Society 〈社会〉	60
16. Nature and Weather 〈自然・気象〉	64
17. The Environment and Disasters 〈環境・災害〉	68

●〈notes〉中の記号の意味●

/その前後の語句を交換することができる ()その語句を省略することができる

1. Family 〈家族〉

〈model sentences〉

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 1. There are five people in my family. | ・私の家は5人家族である。 |
| 2. My sister is a college student. | ・私の姉は大学生である。 |
| 3. My family usually has dinner at seven. | ・私の家族はたいてい7時に夕食をとる。 |
| 4. My grandparents are coming to visit us this summer. | ・私の祖父母はこの夏私たちを訪れる。 |
| 5. My cousin and I are planning to bicycle to Yokohama this weekend. | ・私のいとこと私はこの週末に、自転車で横浜へ行く計画を立てている。 |
| 6. When I get home from school, I have to wash the bathtub. | ・学校から帰ったら私は浴槽を洗わなければならない。 |
| 7. My sister and I can watch TV after we finish our homework. | ・妹と私は宿題を済ました後テレビを見ることができる。 |
| 8. Jerry moved to Hokkaido to live with his brother. | ・ジェリーは兄と暮らすために北海道へ引っ越した。 |
| 9. I learned how to make cookies by watching my mother. | ・私は母を見習ってクッキーの作り方を覚えた。 |
| 10. My aunt has lived in Brazil for twenty years. | ・私の叔母は20年間ブラジルに住んでいる。 |

〈warm-up〉 適語選択問題

1. My father is (1. favor of 2. fond of 3. able to 4. good) fishing.
(浜松大)
2. My sister always (1. puts 2. makes 3. shows 4. has) off her new dress.
(大阪学院大)
3. Don't forget (1. taken 2. taking 3. took 4. to take) out the garbage tomorrow morning.
(高岡法科大)
4. My father can (1. lose 2. get 3. gain 4. take) his temper quite easily.
(大阪学院大)
5. (1. During 2. Despite 3. Whether 4. Although) at home or at school, parents expected boys and girls to be good.
(愛知大)
6. My parents are trying to (1. discourage 2. recall 3. observe 4. relieve) me from moving to London, but I'm planning to go anyway.
(独協大)

Exercises A

1. あなたのご両親は結婚何年になりますか。
(福岡女子大)
2. 私の夢は将来海外で仕事をすることです。
(中部大)
3. 梅雨の前に、屋根を修理しなければなりません。
(日本女子大)
4. 高校の時もっと英語を一生懸命勉強しておけばよかった。
(中部大)
5. 私の父は来年の春退職します。母といっしょに世界旅行をするのが父の夢です。
(拓殖大)
6. 私の祖母は大学生だった時のことを話すのが好きです。
(日本女子大)
7. 母はいつも話し相手がなくて、とてもさびしがっています。
(福岡大)
8. うちの近所は交通が激しいので、母は郊外へ引っ越したらどうかしらと言っています。
(白百合女子大)

Exercises B

9. 先日、子供を連れて山に登った。帰る途中、にわか雨に会ってずぶぬれになったうえ、もう少しで道に迷いそうになった。(神戸大)
10. ここに移り住んで1年近くになりますが、忙しさにかまけてあたりをゆくり散歩する暇もなく日を送っています。(宮城教育大)
11. わが家のトイレには小さな本棚があって、そこにはいつも、父の読みかけの本が入っていた。(九州大)
12. ふるさとの良さはふるさを離れて初めてわかる。僕も大学を卒業したらしばらく鹿児島を離れて暮らしてみなきゃ。(鹿児島大)
13. 僕は都心に住むのが好きなんだ。通勤に時間をかけるよりもジョギングしている方がいいものね。(同志社大)
14. 家屋のなかで台所が重要な位置を占めるようになり、主婦の立場が強くなると、最新の技術を利用した機器類が台所に導入された。(大分大)
15. 私は、夕食にお客を招待することをいつも楽しんだ。しかし、幼い子どもが2人いたので、おいしくて見た目もきれいな料理を用意するのは大変だった。(日本女子大)

< notes >

[A]

- 「結婚する」は marry で、状態を表す「結婚している」は be married である。
- 「夢は～することです」で、～の部分が不定詞か動名詞かを考える。
- 「修理する」repair, fix
- 現在の事実と反対の願望を表す I wish に仮定法過去完了が続く文にするか、「～するべきであった」の意味の 'should+have+過去分詞' の形の文にする。
- 「世界旅行をする」は「世界一周旅行をする」として 'travel abroad' が 'take a round-the-world trip' とする。
- 「大学生だった時」は the time (when) ～の形にするか、「彼女の大学時代」と考えて her college days と書いてもよい。
- 「話し相手」は She talks to somebody/someone. を形容詞用法の不定詞にして書く。
- 「(交通が) 激しい」には heavy や bad が使える。「(～したらどうかしらと) 言っている」は suggest (～してはどうかと提案する), か wonder を用いるか, say を用いて表すこともできる。

[B]

- 「ずぶぬれになる」は get drenched であるが、completely や to the skin と共に使うと意味が強まる。「もう少しで道に迷いそうになる」は almost を使って表せる。
- 「忙しさにかまけて～する暇もなく日を送る」は「あまりに忙しいので～することができない」と too～to... の構文にするか、「たいへん忙しい、そこで～する時間がほとんどない」などとする。
- 「トイレ」 a bathroom, a toilet 「本棚」 a bookshelf 「父の読みかけの本」は「父が読んでいた本」でよい。
- 第1の文は「ふるさとを離れるまで、ふるさとの良さはわからない」とか「ふるさとを離れた後のみ、ふるさとの良さがわかる」と書けばよい。
- 「通勤に時間をかける」は「spend+時+～ing (～して時を過ごす)」の形にするか、単に「通勤する (commute)」だけでもよい。この文の「～している方がいい」は、good か形容詞としての fun の比較級で表す。
- 「主婦」 a housewife 「技術」 technology 「機器類」は「いろいろな種類の equipment (設備, 備品)」で表せる。
- 「おいしい」 delicious, tasty 「見た目もきれい」 look good, appealing to the eyes

< Say It in English >

- 近くの本屋へ車で行く • drive to a nearby bookstore
- アメリカの大学で勉強する • study at a university in America
- 子供の時住んでいた家 • the house I used to live in as a child
- 1日に2回歯を磨く • brush my teeth twice a day
- 苦勞して大学を卒業する • work my way through college
- 家庭教育の重要性 • the importance of home education
- 気晴らしに散歩をする • take a walk for a change of pace
- 仕事と休養のバランスをとる • keep a balance between work and relaxation